

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年1月19日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

司会 定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明を申し上げます。

まず、2.の下段、1ページ下段でございます。1月23日火曜日、(2)の審査会合でございます。こちらは議題といたしましては、日本原電・東海第二原子力発電所につきまして、竜巻・内部溢水対策など、いくつかの点につきまして、確認のために説明を聴取するということを予定してございます。

続きまして、2ページ目、(3)東海再処理施設等安全監視チームの第19回の会合を開催する予定でございます。こちらは議題は主に3点でございます。

まず、議題1といたしまして、ガラス固化処理計画につきまして、これまでの議論を踏まえて見直しを行った結果について、説明を聴取するという予定でございます。

次に、議題2といたしまして、東海再処理施設における安全対策につきまして、その検討状況、検討を進めていくスケジュールについて、説明をお聞きするという予定でございます。

加えまして、議題3といたしまして、廃棄物処理の進捗状況ということで、以前、核サ研についての状況をお聞きしたことに加えまして、電科研その他の施設についても、廃棄物処理の進捗状況について説明を聞くということをご予定してございます。

続きまして、(5)の審査会合でございます。同日1月23日の夕刻でございます。こちらはいわゆる特重施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。対象といたしましては、関西電力・高浜1号機、2号機についての審査を予定してございます。

続きまして、1月25日木曜日、(7)震源を特定せず策定する地震動に関する検討チームの第1回の会合を開催する予定でございます。こちらは11月29日の委員会において設置が決定された検討チーム、その第1回の会合ということになります。議題は3点予定されております。

まず、議題1といたしまして、第1回の会合ということをご踏まえまして、検討チームについてということで、検討チーム設置の趣旨、目的などについて確認を行い、その上で、議題2といたしまして、適合性審査における震源を特定せず策定する地震動の評価につ

いてということで、現状におけます基準やガイド上の規定、あるいはその審査における扱いなどについて現状を説明し、共有いただくという予定でございます。

その上で、議題3といたしまして、検討チームの主な検討課題についてということで、検討課題及びそれに関する検討の進め方につき、事務局から提案し、議論いただくということを予定してございます。

私からの御説明は以上でございます。

#### < 質疑応答 >

司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。シゲタさん。

記者 NHK、シゲタです。

2点ほどお伺いしたいのですが、まず、23日の審査会合なのですけれども、こちらは東海第二ということなのですが、これは設置変更許可に基づく審査なのか、それとも工認に基づく審査なのか、どちらなのでしょう。

大熊総務課長 説明がちょっと分かりづらくて申し訳ございませんでした。設置変更許可に関する審査でございまして、若干補足しますと、御案内のとおり、審査については一通り行ってきたところでございますけれども、まとめていく上で何点か確認を要する事項が出てきたということで、確認を行うという趣旨のものでございます。

記者 分かりました。

あと、25日の震源を特定せずの検討チームなのですけれども、これは木曜日に聞いてからという話なのかもしれないのですが、現時点で課題と認識されていることを改めてお伺いしてもよろしいでしょうか。

大熊総務課長 木曜日の会合の際に、詳しくは検討課題を整理し、提案するというところでございますけれども、この検討チームの検討の趣旨としては、これも委員会のときにお聞きいただいたとおり、震源を特定せずに策定する地震動についての設定の仕方、方法についての検討を行うということでございまして、これを多数の測定記録・観測記録を統計的に処理することによって、標準応答スペクトルを策定するという方向で検討いただくということで考えられているということでございまして、検討課題としても11月29日の委員会資料にも何点か既に挙げられておりますが、対象とする地震の規模及び観測記録をどう扱うのか、また、観測記録の統計処理の方法をどうするのか、あるいは標準応答スペクトルの策定をどのように行うのかといったような点が主な検討内容になるものと想定されているところでございます。

司会 ほかに御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。ナガイさん。

記者 共同通信のナガイです。

今日、福島第一原発の2号機の格納容器内の調査が今行われていると思うのですが、特段トラブルですとか、何かデブリのようなものが見つかっているとか、何か連絡等は入っていないでしょうか。

大熊総務課長 特段のトラブル等の連絡は受けておりません。今、お話がございましたように、今、東京電力福島第一原子力発電所の2号機で内部の調査が行われているところということでございまして、開始の当初から現地で検査官が立ち会いを行って、安全面での確認等々を行っているところでございます。トラブル等という話は入ってきておりません。

なお、結果は本日夕刻に東京電力から公表されると聞いております。

司会 よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上とさせていただきます。お疲れさまでした。

- 了 -